

# てんたかく特報

なのはな農業協同組合  
富山農林振興センター

～ 3年連続の一等米比率 90%以上を目指し、H29JAなのはな米品質向上運動を実施中 ～

～てんたかくの防除を確実に行いましょう！！～

今年のとんたかくは平年よりもやや生育が遅くなっています。

昨年も斑点米の発生で品質の低下が見られました。次のことを適期に確実に実施し、1等米比率100%を目指しましょう。

## 現在の生育状況

幼穂形成期 7月2日頃  
(5月5日頃田植え)



出穂期 7月23日頃  
と予想されます。

## <今後の管理のポイント>

### 1 草刈りの徹底

斑点米カメムシ類は、畦畔等の雑草地に昨年並みに多く生息しています(平均5.5頭/地点)。

カメムシの密度を低下させ、斑点米の発生を防止するため、7月10日頃までに畦畔や雑草地の草刈りを終わらしましょう。

**7月1日～10日は草刈り運動期間です。**

## “斑点米カメムシ類多発”注意報発令

### 雑草地におけるカメムシ生息密度調査結果

確認地点率89%

※7月3日調査

J Aなのはな管内9地点

### 2 病虫害防除

～生育状況を確認し、遅れずに防除しましょう！～

	防除時期 (主な対象病虫害)	薬剤名	散布量	防除日 (7/23 出穂)
粉 剤	出穂直前 (いもち病・紋枯病)	ブラシンバリダ粉剤 DL	3～4 kg/10a	7/ 9～13
	穂揃期 (いもち病・カメムシ)	ビームキラップ ジョーカー粉剤 DL	3～4 kg/10a	7/27～29
	傾穂期 (カメムシ)	トレボンスター粉剤 DL	3～4 kg/10a	8/ 3～ 5
粒 剤	出穂10日前頃	フジワンラップ粒剤	4 kg/10a	7/13頃

### 3 水管理

幼穂形成期以降、出穂期までは**飽水管理**で稲の活力を維持しましょう。  
また出穂期から20日間は**湛水管理**を行いましょう。